

# ごじょう山

Vol.62

2021.4.1 発行

法人理念：思いやり 基本方針：ひとりひとりに応じた医療と福祉で社会参加をサポートします。

## 法人設立 70周年に向けて

医療法人財団北林厚生会

理事長 北林 百合之介

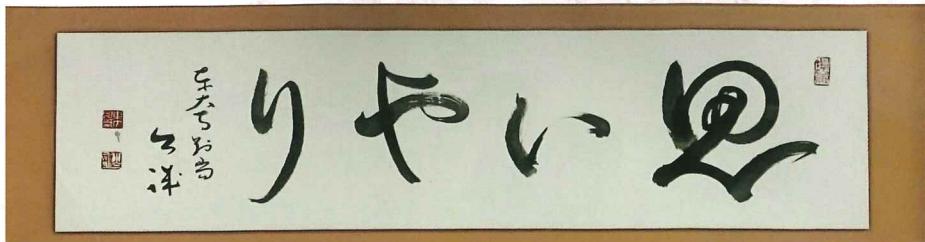
2020年度は、新型コロナウイルスが全世界で猛威をふるい、全人類にとって、記憶、記録に残る1年となりました。まだ、この問題が解決されるのには、しばらく時間がかかりそうです。地域の多くのみなさまと協力をしながら、この困難を乗り越えていきたいと思います。

さて、医療法人財団北林厚生会は1951年に設立されました。2021年5月に法人設立70周年を迎えます。患者さんやご家族の力になれるよう、法人理念「思いやり」、基本方針「ひとりひとりに応じた医療と福祉で社会参加をサポートします」のもと、五条山病院、訪問看護ステーション、デイケアセンター、サポートセンター、相談支援事業所、共同住居を、多くの職員が協力しながら運営してきました。受診を希望される患者さんを断ることなく受け入れ、退院後も患者さんやご家族が、地域で安心して生活できる支援を、法人全体で行ってきました。

2017年に出版された病院機能評価データブックでは、クリニックや病院と連携した診療の受け入れについて、「県内の精神科医療連携を強力に牽引するリーディングホスピタル」であるとして高く評価してもらいました。デイケアセンターでの就労支援の取り組み「仕事リハビリテーション」は2019年から2020年にかけて、奈良新聞に4回にわたって大きく掲載され、こちらも高く評価してもらいました。奈良県の公表データでも、県内の精神科病院の中で、最もたくさんの統合失調症患者さんの入院診療をおこない、高齢化率、長期入院率も最も低い水準にあることが示されています。

今、日本では高齢化が進み、人口が減少し、社会保障制度全体が揺らいできています。コロナ禍の中でも、地域医療構想の名のもと、病床の整理削減が進められ、医療費の自己負担増も進められています。これから先は、もっと大きな変化や困難が待ち受けています。

医療法人財団北林厚生会では、過去の成果に慢心することなく、また、将来を過剰に心配することなく、今、目の前にある仕事に、誠実に一生懸命、取り組んでまいります。そして、精神障害があっても、安心して生活ができる地域社会づくりに貢献してまいります。



# デイケアセンターより

## 連載（第4回）ユナイトについて

「人が多い所が苦手で学校や仕事に行くのが怖い」「家以外で安心して過ごせる居場所がない」「人との距離感が分からず上手にコミュニケーションが取れない」「悩みを言い合える友達が欲しい」など、色々な悩みを抱えていたり、自宅で何もすることがなく日々を過ごしてしまっている『10~20代の方たち』が集う場として利用していただけます。10名程度の少人数で行いますので、「人が多い所が苦手だ」という方も、自宅から出る"最初の一歩"として利用しやすいプログラムとなっています。

コロナ禍のため、手指消毒やソーシャルディスタンスを心掛けた上で、『レクリエーション』や『調理活動』、『ボードゲーム』などの活動を通して、コミュニケーションの練習の場として利用していただけます。全員で同じ活動を行うことで孤立感を軽減し、他者と関わる楽しさを安心して感じることができます。また、活動の内容は、参加者が案を出し合って、決めたことを行うため、自尊心や自己肯定感を高めることにもつながります。



プログラムの流れとしては、前半はスタッフが考えた活動を行い、後半は参加者同士で話し合った活動を行います。また、昨年度は月1回（第2土曜日）のみの開催でしたが、今年度からは好評につき、月2回（第2・第4土曜日）開催することとなりました。興味や関心のある方は、デイケアスタッフまでお問い合わせください。

### <過去に実施した内容>

#### ☆もぐもぐタイム（調理活動）



調理活動を通して、参加者同士が協力し、自然とコミュニケーションを取ることができます。（これまで、『べっこう飴』や『たこ焼き』、『クリスマスケーキ』作りなどを行いました。）

#### ☆ボードゲーム

『UNO』や『人生ゲーム』など馴染みのあるゲームを行う活動です。参加者同士で相手に分かるように教え合ったり、伝え合ったりすることを大切にしているため、ルールが分からぬ方にも参加しやすい内容になっています。

#### ☆アイスブレイク

『自分クイズ』、『私は誰でしょうゲーム』など、参加者がお互いに関心を持てるようなゲームを行います。ゲームを通して、相手のことを知ったり、理解を深める（幅を広げる）ことのできる機会になります。



プログラムは、随时見学・体験できます。  
ご希望の方は、デイケアセンターまでご連絡下さい。

TEL : 0742-44-7660

# サポートセンター夢より

## 連載（第4回） 退所に向けての支援について

第4回は、サポートセンター夢に入所中からスタッフと一緒にしていく『退所に向けた支援について』です。サポートセンター夢を退所した後、『どのように生活していきたいか？』という利用者さんの希望に沿って、毎月目標を立て、入所生活を通して気づいた自分自身の特徴や困りごと、自分の希望する生活などについて話し合っていきます。

『どこに住みたいか？』『どのような支援を利用するか？』などをスタッフと話し合いながら、退所後の生活を具体的にイメージしていきます。新しいことに取り組むことは気力や体力が必要です。『いつ頃から物件を探し始めるか？』など、心身の体調も考慮しながら計画を立てていきます。

そのようなイメージを固めた後、『物件探し』や『電化製品や生活用品の購入』『退所後に利用する福祉サービスの利用手続き』を行っていきます。物件の場所や交通の便、間取りやキッチンの広さ、物件に合った電化製品や生活用品の購入など、迷ったり悩んだりすることも多いと思います。自分の「ここだけはこだわりたい」「大事にしたい」ところを大切にしながら、予算に応じた必要なものをスタッフと一緒に考えていきます。

また、退所後の課題を整理し、「やっぱり家事が苦手だから誰かに手伝って欲しい…」「一人で買い物するのは不安だから一緒にあって欲しい…」などの希望がある場合は【ホームヘルパー】、「一人で過ごすことが寂しくなるかもしれない…」などの不安がある場合は【ショートステイ】、「今でも薬を飲み忘れてしまうことがある…」「一人なつたらもっと忘れててしまうかもしれない…」などの心配がある場合は【訪問看護】など、自分の希望する生活を実現できるようにスタッフと話し合いを重ね、新たな支援（サポートしてくれる人たち）へとバトンタッチしていきます。分からぬことや気になることなどございましたら、サポートセンター夢のスタッフまでお気軽にお声かけください。

### 地域での生活スタート！



一人でいると寂しい…

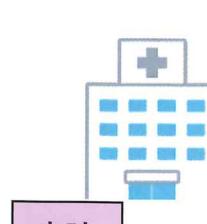
ショートステイ

通所事業所



ホームヘルパー

家事ができない、買い物  
ひとりでは不安…



病院



訪問看護

相談支援事業所



◆ 病床数

・精神科急性期治療病棟	51 床
・精神一般病棟	53 床
・精神療養病棟	270 床

◆ 関連施設

- ・サポートセンター「夢」
- ・相談支援事業所「夢」
- ・訪問看護ステーション「ののはな」

◆ 診療科目：精神科・心療内科・内科

◆ 診療時間：月曜日～土曜日（予約制）

午前 9:15～12:00

午後 12:45～15:00

◆ 受付時間：月曜日～土曜日

午前 9:00～16:30

（※診察は初診も含めすべて予約制です）

◆ 休診日：日曜日、祭日

年末年始（12月30日～1月3日）

5月1日、8月15日

【 診察担当医（令和3年4月1日より）】

	診察時間	月	火	水	木	金	土
1 診	9:15～12:00	北島	神谷	北林	藤岡	林田	中前
2 診	9:15～12:00	神谷	北林	北島	駒喜多	町澤	速水
3 診	9:15～12:00	三宅	速水	町澤	中前	永原 10:00～12:00	担当医
	12:45～15:00	駒喜多	松本		榎原		榎原

=女性の医師

（※上記診察担当医は予定です。変更される場合があります。予めご了承下さい。）

- 当院では完全予約制を導入しています。診察は予約の順番にて行っておりますが、診察内容などで前後する場合があります。その際はご了承くださいますようお願い申し上げます。
- 初めて診察をご希望される方は、お電話にて「地域医療連携室」までお問い合わせください。

（受付時間：9:00～16:30）

お問い合わせ



0742-44-2411（地域連携室）／0742-44-1811（代表）

【 アクセス 】

〒630-8044 奈良県奈良市六条西4-6-3 TEL : 0742-44-1811 FAX : 0742-47-5766

ホームページ : <https://www.gojouyama.jp>

≪ 近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より ≫

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間40分）

≪ 近鉄橿原線 西ノ京駅より ≫

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間8分）